

第四中学校区施設一体型小中一貫校構想に関するご意見及びお問い合わせ

No.	ご意見等	市回答	回答日
1	<p>学校からの配布物として小中一貫校だよりを受け取りました。施設一体化の計画について、すでにかかりの保護者の間で不安や疑問、反対意見が渦巻いています。連携の理念やまちづくり計画もいいのですが、多くの保護者が感じる抜本的な疑問についての見解を示すことが大切なのではないでしょうか。でなければ、どんなに魅力的な内容の構想や取り組みでも、受け入れられる体制にはなりません。以下の質問について、できるだけ早い段階で方針を示していただくようお願いいたします。</p> <p>①通学路の安全確保 新校舎がどこになるにしても、通学のため阪急・JR ふたつの線路を超える必要がでる児童が多数います。ご承知のように朝の通学時間の踏切は待機時間も長く、事故が起これば児童の誘導などの対応も必要になります。施設一体型校創立の前に線路の高架化および歩道橋の設置は必須事項ですが、その計画はどうなっていますか。</p> <p>②グラウンド・体育館の使用について 小中全生徒を収容する校舎の建設はさほど困難ではないでしょう。しかし、体育館やグラウンドについてはどうなのでしょう。現在赤大路小学校のグラウンドは赤大路校区内に公園が極端に少ないため、放課後地域に開放されています。第四中学校のグラウンドはもちろん部活動などで使用されています。また、赤大路・富田両小学校とも学童保育に通う児童が放課後使用しています。体育館も多くの課外活動に活用されています。これらの利用が施設一体化により制限されてしまうのでは、他にどんなメリットがあっても補えないデメリットとなります。</p> <p>③学校跡の敷地利用について 施設一体型一貫校に移行した場合旧各学校の跡地はどうなるのでしょうか。公園やグラウンドとなって地域のこども達のために利用されるのでしょうか。もしそ</p>	<p>この度の施設一体型小中一貫校の設置にあたりましては、保護者の皆様をはじめとする第四中学校区に関係する皆様のお声やご意見をお聞きしながら進めていくことが重要であると考えており、そのための手法の一つとして今回、「施設一体型小中一貫校だより」を発刊することといたしました。</p> <p>「基本構想」は、市としての現段階での考え方をお示ししているものであり、実現にあたってどのような課題があるか、また、そのために必要な手法等の検討を進めているところです。</p> <p>通学路やグラウンド・体育館の使用、子どもの居場所づくり等に関するご意見に関しましては、本市としましても、より良い学校を考えていく上では重要な課題として認識しており、今後、計画の具体化にあたって検討してまいります。また、頂きましたご意見につきましては、今後の検討の中で、できる限り活かしていきたいと考えております。</p> <p>今回の第1号では全ての考え方をお知らせできておりませんが、今後、「施設一体型小中一貫校だより」の発刊等を通じて、皆様と意見交換を行いながら、良い学校ができるよう検討を深めてまいりますと考えておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。</p>	R3.5.11

第四中学校区施設一体型小中一貫校構想に関するご意見及びお問い合わせ

	<p>うであるなら、②の課題は多少なりとも解消できるかもしれません。保護者には、高槻市が資産価値が高い土地を運用するために学校をなくそうとしていると考えている人が多数います。</p> <p>繰り返しになりますが①～③の質問は、一貫校の理念や構想に先だった根本的な課題です。これがクリアにならないと、どんな素晴らしい構想も地域住民に受け入れられず、反対運動やその対応に各々がかなりの労力と歳月を費やすことになるでしょう。逆に上記がクリアになれば、前向きな議論が進められるのではないのでしょうか。なお、小中一貫校だよりにおいては、地域住民からの多様な質問に答えるコーナーを毎回設けられると思います。</p> <p>上記の質問について、メールと「小中一貫校だより」紙面にて誠実なご回答をお待ちしております。</p>		
2	<p>四中校区施設一体型小中一貫校について富田小学校に統合と決定したと〇〇議員のブログで知りましたが、保護者を対象とした説明会や意見聴取が一切無いまま決定したことはおかしいと思います。本日学校にも問い合わせましたが学校側は説明会等一切予定していないとのことでした。未だ文書での説明もなく、大変不愉快です。</p> <p>また富田小学校区に比べて赤大路小学校区は人数が多く、距離的には問題ないものの、富田小学校に児童生徒が集中する場合、通学に大きな支障が出ます。特に二学区間には2本の線路が通り、現在でも踏切、迂回路共に大変混雑しています。二線路共に混雑路線であり、短い時間に数百人の児童・生徒が通学利用することはかなり安全面での問題があることは明白です。</p> <p>そして、赤大路小学校、第四中学校を廃止した場合、例えば大規模居住地として再開発された場合更に人口増となりますが、その場合に再び小学校を新設する必要も出かねないのではないのでしょうか。赤大路小学校区は工場が未だ多く、パナ</p>	<p>現在は、基本構想において市としての考え方をとりまとめ、実現にあたってどのような課題があるか、また、そのために必要な手法等の検討を進めているところです。</p> <p>その中で、校地については、基本構想の策定の中で、行政としての考え方をお示ししたのですが、今後、様々なご意見を丁寧にお伺いして、最終的に判断したいと考えております。</p> <p>また、校地選定についての考え方は、今後ホームページや、今年度から発刊することとしました「小中一貫校だより」等でお示ししていきます。</p> <p>意見聴取については、コロナ禍の中、保護者や地域の皆様にお集まりいただく、いわゆる「説明会」の手法は、感染リスクのため密を避けるという観点から、現段階では開催は困難と考えており、それに代わる手法として、広報誌・市ホームページ・「小中一貫校だより」等でのお知らせに加え、今後意見交換の場も設けてまいります。</p> <p>通学路、跡地活用の件については、本市としましても、よりよい学校を考え</p>	R3.7.2

第四中学校区施設一体型小中一貫校構想に関するご意見及びお問い合わせ

	<p>ソニックの工場の再開発に予定されています。その時に大規模マンションなどが建てられたらさらに人口が増え結局小学校をどうするのかという話が再び出ることでしょう。</p> <p>以上、保護者説明会、通学問題、再開発の課題についてどのようなお考えなのかお聞かせください。</p>	<p>ていく上では重要な課題であると考えており、どのようにしていくか、今後適切な時期に検討してまいりたいと考えております。</p>	
<p>3</p>	<p>就学期の子どもがいますので、施設一体型小中一貫校の計画については強い関心を持って、その行方を注視しています。</p> <p>先日配布されました小中一貫校だより第2号を拝読しました。</p> <p>これまで取り組んできた連携型小中一貫教育の成果を根拠として施設一体型小中一貫校を設置する必要性が示されていましたが3年間でこれだけ成果が上がっているのでしたら今まで通り連携型小中一貫教育を続けていく方がよいのではないかと感じました。そもそも小中学校9年間の授業カリキュラムを検証するのなら最低でも9年間の検証期間が必要ではないでしょうか。施設一体型小中一貫校を作るとなると、子どもの学習環境が大きく変化しますので、これまで積み上げてきた成果が台無しになってしまう可能性もあるかと思えます。単純に学校の敷地面積だけをとってみても、一人ひとりがゆったりと過ごすことのできる今の学習環境があればこそその成果だとも考えられます。そのようなこともあり、施設一体型の学校を作れば今の学校現場が抱えている課題が一挙に解決するような楽観論には賛同しかねます。</p> <p>もちろん、赤大路小学区から踏切を二つ越えて通わなければならないこと、地域の避難場所がなくなってしまうことなど言うまでもないことですが、気にかかる問題は他にもたくさんあります。</p> <p>7月から8月にかけて「新しい学校づくり」をテーマとしたワークショップを実施されるということですがこれが施設一体型小中一貫校に関する構想作りの一環であるのならしっかりと公開して、内容が公になるようにしてほしいです。あ</p>	<p>施設一体型小中一貫校の設置については、単に施設を一つにすることが目的ではなく、義務教育学校として、その特徴を活かし、小中一貫教育の効果をさらに高めていくための検討が必要であると考えています。</p> <p>引き続き、ワークショップの様子や意見なども含め、「小中一貫校だより」を通じて施設一体型小中一貫校に関する内容をお知らせしてまいります。</p>	<p>R3.7.30</p>

第四中学校区施設一体型小中一貫校構想に関するご意見及びお問い合わせ

	<p>とから「小中一貫校だより」で一部抜粋だけを知らされるのでは保護者や子どもなど当事者は蚊帳の外に置かれている印象が拭えません。</p> <p>就学期の子どもをもつ当事者として、施設一体型小中一貫校の計画について今後とも意見を出させていただきます。よろしく願いいたします。</p>		
4	<p>今回の富田地区まちづくり構想および施設一体型小中一貫校の検討について、地域に在住し、直接的に影響を受けることになる4歳になる子どもがいることから、これまでの各種資料等を多大な関心をもって拝読させていただいております。</p> <p>先日はオープンハウスにも参加させていただきました。たとえばオープンハウスでのアンケートの内容などから明らかですが多くの問題が山積されている状態にも関わらず、結論ありきで強引に進められている状況に非常に強い危機感を抱いております。</p> <p>さまざまな観点から検討を進めていく必要がありますが、ひとまず一際目立っている問題について地域住民として、親として、また専門家として気づいた点を整理いたしました。</p> <p>長文となってしまいましたが、よりよいまちづくり、よりよい教育の実現のために、ぜひご参照いただければと思います。よろしく願い申し上げます。</p> <p>【施設一体型小中一貫校教育の構想に対する意見】</p> <p>今次の提案は、富田地区まちづくり構想と合わせて、地域に住む住民の生活、教育や子育て、福祉等を大きく変えるような、非常に影響力の高いものとなっております。そのため、後述するようなさまざまな問題や課題が各論として多数存在しており、どうしてもそれらに焦点を当ててしまいがちですが、最大の論点はそもそもなぜ施設一体型にしなければならないのかという点です。これまでの各種資料を見ても、その必然性が明確に示されて</p>	<p>本構想では、これまで本市で培ってきた連携型小中一貫教育の成果を踏まえ、教育の質の一層の向上を目指し、施設一体型小中一貫校の設置に取り組んでいます。実現にあたっては、地域住民の皆様のお声をお聞きしながら、通学路だけではなく、様々な課題に対し、どのような対策が必要かの検討を深めてまいります。また、頂戴しましたご意見に関しましても、参考にさせていただきます。</p>	R3.7.30

第四中学校区施設一体型小中一貫校構想に関するご意見及びお問い合わせ

<p>いません。富田小学校一拠点にするという提案が誰（どこ）から出てきたのか、なぜそうしなければならないのか（なぜ連携型ではダメなのか）という点を、まずは明確にするとともに広く合意が得られなければならないと思います。上述のように論点をずらし、富田小学校一拠点化自体が決定事項であるかのような進め方は、地域住民の意思を蔑ろにし、地域を分断する暴挙であると言わざるを得ません。繰り返しますが、まずは富田小学校一拠点にするという提案が誰（どこ）から出てきたのか、なぜそうしなければならないのか（なぜ連携型ではダメなのか）という点を明示し、それに対して地域住民とオープンな議論をしてください。</p> <p>最大の問題については上述しましたが、地域に住み4歳の子どもを育てている親として、また教員養成に携わる教育心理学の専門家として、各種資料に対し、各論として特に気になった点を以下に述べます。</p> <p>(1) 通学路の危険</p> <p>これまでの議会議事録や「施設一体型小中一貫校だより」などを読み、校区が広がることに伴う通学上の危険性について実質的な検討が何もなされていないことに大きな不安を抱いています。</p> <p>議員の方や地域の方からも既に質問や指摘がなされている通り、富田小学校一拠点化が実現すると現在赤大路校区に住む児童は、JR と阪急2つの踏切を渡って通学することが求められます。いずれの踏切も、特に朝の登校時間帯は「開かずの踏切」状態で既に地域において問題視されています。そうした場所を越えさせようとするのは危険を増やすだけです。中にはこれらの踏切に加えて、交通量の多い国道171号線まで越えなければならない子どももいます。つい最近も他県において、飲酒運転が原因でトラックが小学生の列に衝突するという事件がありました。こういった事件は仮に誘導の大人がいたとしても防ぎようがなく、そもそもそのリスクを減じる策を取るしかあり</p>		
---	--	--

第四中学校区施設一体型小中一貫校構想に関するご意見及びお問い合わせ

<p>ません。</p> <p>答弁や各種資料では構想策定後、計画の具体化の段階で検討していくことが繰り返し説明されており、それを持ってこの質問や不安に対する回答とされているように思います。しかし、この問題は、地域の子育て世帯の最大の関心事の一つであると同時に、今回の富田地区全体のまちづくりを検討する際の中心的な問題でもあるはずで、ぜひ構想段階から、どのように交通上の安全を確保していくかということについては、その具体的な方向性も含めて検討していただきたいと思います。現状においても地域の通学路上の危険な場所については信号機の設置等の声が出されているにもかかわらず、何ら対応がなされていないことも聞いております。一度構想が策定されてしまうと、計画時点で合意が得られなくても無理に進められてしまうことを危惧しています。</p> <p>(2) 子どもへの影響について</p> <p>2016年度の小中一貫校の制度化以降、さまざまな実践が行われ、それぞれの立場から成果報告がなされてきています。高槻市においても答申が出されており、その中で肯定的な効果が報告されています。一方で、小中一貫校にしたことにより、児童生徒の人間関係の固定化が進んでしまうこと、教職員の負担軽減には繋がらないことなどが、実践報告や研究者による報告からは挙げられています。</p> <p>今次の提案では、これまでの連携型から施設一体型へと変更することが掲げられており、これまでの成果を一層高めつつ、見出されてきた課題を解消していくことが示されています。「第四中学校区層高めつつ、見出されてきた課題を解消していくことが示されています。」「第四中学校区施設一体型小中一貫校だより vol. 2」には、成果として以下の5項目が具体的に挙げられていました。項目が具体的に挙げられていました。</p> <ul style="list-style-type: none">①全国学力・学習状況調査の結果が向上②子どもの自己肯定感が向上③不登校数(千人率)が全国平均を下回る		
---	--	--

第四中学校区施設一体型小中一貫校構想に関するご意見及びお問い合わせ

<p>④教職員の意識改革及び授業改善 ⑤地域との協働関係の強化</p> <p>①の全国学力・学習状況調査は確かに「学力」を測定する指標の一つですが、それでもやはり特定の観点に基づく特定の教科に限った指標に過ぎず、近年特に重視されている非認知的能力等も含めた学力向上を主張するのに十分なデータが示されているとは言えません。また、②の自己肯定感については、どのようなデータが根拠となっているか不明です。③は比較的客観的なデータですが、時代や社会の変化に多大な影響を受けることから検証が困難であるにもかかわらず、短期的なスパンでの分析結果のみに依拠している点には疑問が残ります。この点については①②にも共通する問題です。そもそも教育の効果を検証するためには、在学期間中の学習や生活の状況のみではなく、卒業後の進路等も検証指標に加える必要があります。研究開発学校に指定されてようやく10年ですが、検証が十分になされているとは考えられません。さらに④⑤もまた十分なデータが示されているとは言えません。特に教員自身の自己評価のみを根拠に意識改革や授業改善が達成されたとするのではなく、児童・生徒の声を聞いた上で考察する必要があると考えられます。</p> <p>一方、連携型の小中一貫教育の実践を通じて見出されてきた課題としては、以下の4項目が具体的に挙げられていました。</p> <p>①9年間のカリキュラム編成 ②小学校高学年での教科担任制の導入 ③学校間の移動など時間確保が難しい ④教職員の負担感・多忙感</p> <p>このうち、まず①②がなぜ連携型小中一貫教育の課題として挙げられているのか、論理的なつながりが見えません。どのようなデータや理由から、これらが施設が分かれていることによる課題と言えるのか、施設一体型にすることでなぜ解消できると言えるのか、具体的に示していただきたいと思います。また、③について</p>		
--	--	--

第四中学校区施設一体型小中一貫校構想に関するご意見及びお問い合わせ

	<p>は、唯一「施設一体型小中一貫校でなければ実現できない」課題である考えられます。しかし、現時点における移動による負担とは一体どれくらいのものでしょうか。実際に第四中学校、赤大路小学校、富田小学校で直接的に小中連携の企画等に関わっておられた先生方がどのようにお考えなのかが聞こえてきません。Covid19により ICT の活用が急激に進み、GIGA スクール構想も前倒して開始されています。今後も教育の ICT 化は一層加速していくことが予想されますが、離れた学校同士でもオンライン会議システム等を用いて会議や打ち合わせを行うことは可能です。子どもたちにだけ ICT 機器の使用を促し、自分たちは使わないという状態は整合性が取れていないのではないのでしょうか。また、最後の④について、具体的にどのような業務を減少させたり、効率化させることが可能となるのかが示されておらず、全く説得力に欠ける主張となっています。そもそも教育改善と業務改善は同義ではなく、業務改善と負担感・多忙感の低減もまた同義ではありません。</p> <p>これまでの成果にしても、見出されてきた課題にしても、根拠となるデータや具体的な例が示されていなかったり、妥当性・信頼性が十分でないことに加え、論理的な飛躍も多く、地域住民をはじめとした関係者に丁寧な説明を行おうとしているようには思えません。</p> <p>厳しい表現を用いてしまいましたが、反対ありきで考えているわけではありません。要するに、構想段階から地域住民をはじめとする関係者とオープンな議論を行い、きちんとした構想ができてから、具体的な計画を策定するという真っ当な段階を踏んだ議論をしていただきたいと思っております。ぜひ誠実な対応をしていただきたくお願い申し上げます。</p>		
5	<p>先日、オープンハウス、拝見させていただきました。</p> <p>この富田まちづくり、施設一体型小中一貫校の設置については、赤大路がががらっと変わってしまう、とても大きな改</p>	<p>オープンハウスについては、様々な場を活用して周知してまいりましたが、ご指摘を踏まえ、今後の進め方については留意してまいります。</p> <p>また、今後も地域住民の方に向け丁</p>	R3.7.30

第四中学校区施設一体型小中一貫校構想に関するご意見及びお問い合わせ

<p>革です。私たち住民にとっては大きな問題です。</p> <p>残念ながら、現状として、このまちづくりについて多くの住民が知りません。知る機会が少なすぎます。6月号のたかつき DAYS では、小中一貫校の候補地は載っておらず、先日のオープンハウスでやっと場所を知ることができました。拝見しましたオープンハウスの内容は、たかつき DAYS 7月号でも載せることができる内容に思いましたが、なぜ多くの住民が見るたかつき DAYS に載せずに、足を運べる人が限られるオープンハウスのような場所で候補地富田小学校を公表したのでしょうか？また、オープンハウスの開催について、7月号で住民に知らせることができたはずですが、小中学生の保護者は、開催の3、4日前に小中一貫校だよりで知ることができましたが、ほかの住民がこのオープンハウスについて知るチャンスがほとんどなかったように思えます。どうして、オープンハウス開催を、7月号に載せることができなかったのでしょうか？お答え願います。</p> <p>小中一貫校だよりの内容とても大切です、小中一貫校とはどんな学校なのか、高槻市が目指す小中一貫校での教育がどんなものなのか、就園前、未就学児の保護者も絶対に必要としていると内容だと思います。でなければ、「小中一貫校」という名前となんとなくのイメージだけが先行して、高槻市の教育に不安を感じざるを得ません。たかつき DAYS に、毎月、まちづくり、小中一貫校の記事を載せ、住民に知らせていただきたい、富田地区には、住民全体に記事を配布するなりして、きちんと住民に知らせてほしいと思います。</p> <p>さらには、オープンハウスの開催延長もしくは、ワークショップの開催を増やし、住民が意見を述べる場を作っていただきたく思います。</p> <p>この構想の全体スケジュールを拝見しましたところ、7月に開催されるワークショップ以降、パブリックコメントまでの期間、住民が市から話を聞く場も、意見</p>	<p>寧な情報発信に努めるとともに、オープンハウスやワークショップに限らず、様々な形でご意見をお聞きできるような検討していきたいと考えております。</p>
---	---

第四中学校区施設一体型小中一貫校構想に関するご意見及びお問い合わせ

	<p>を述べる場も設けられていないのは非常に問題だと思います。予定されているワークショップは、参加できるのが PTA 執行部や、ボランティアなど一部の保護者です。ぜひ、住民全体に声をかけてください。また、オープンハウスはオンラインなどで一般公開されることを希望します。</p> <p>知りたいと思う住民が多いと思います、以上に関してよろしく願いいたします。</p>		
<p>6</p>	<p>パネル展示にも参加しました。しかし「小中一貫校だより」による分け隔てない告知ではなく、短時間のパネル展示にて初めて小中一貫校の施設候補地を富田小学校と決定したと告知したことについて大変不愉快に感じております。</p> <p>また先日配布された水害マップを拝見しましたが柳川、寿永小学校などは完全に水没する可能性があるようですね。</p> <p>そのような危険な小学校を放置している状態で災害に強い赤大路小学校、四中を廃校とすることが本当に市として正しい姿勢なのですか？寿永小学校では大阪北部地震で痛ましい事故が起こり尊い命が失われました。それに対して赤大路小学校区は被害はほとんどなく古い建物でさえ人が住めないほど崩れたものはありません。</p> <p>この水害が多発し、南海トラフ地震、上町台地地震、有馬高槻断層が懸念される中、市としてやるべきことがあるのでは無いでしょうか？</p> <p>少なくとも交通問題を無視して無理やり危険性の高い道を通学路に定め、子供たちを交通事故の危険性を晒すことよりも子供達をいかにして守るかが市政に求められる行動では無いでしょうか。</p> <p>寿永小学校の事故では高槻市は全国的に汚名を轟かせました。</p> <p>次に施設一体化による交通事故や柳川、寿永などの災害脆弱地区放置による児童の被害が起これば再び高槻市の名前がどのように知れ渡ることになるか真剣に考えていただきたいです。</p>	<p>本構想では、これまで本市で培ってきた連携型小中一貫教育の成果を踏まえ、教育の質の一層の向上を目指し、施設一体型小中一貫校の設置に取り組んでいます。実現にあたっては、通学路だけではなく、様々な課題に対し、どのような対策が必要かの検討を深めてまいります。</p> <p>また、安全・安心な学校づくりについては、今後10年間の高槻の教育の方向性を示す「第2期高槻市教育振興基本計画」でも、最重要取組として掲げており、今後も子ども達が安全に、安心して学校生活を営むことができるよう、安全確保に向けた取組を推進してまいります。</p>	<p>R3.7.30</p>

第四中学校区施設一体型小中一貫校構想に関するご意見及びお問い合わせ

	<p>よって、水害、災害危険地区の小中学校を放置してまで安全地帯にあり生徒数も十分な赤大路小学校、四中を廃校とするメリットについてと災害危険地区の小中学校を今後どのようにしていくのかというビジョンをお聞かせください。</p>		
--	--	--	--